

名栗の森ガイドハイク

名栗げんきプラザ周辺には、たくさんの植物や、昆虫・鳥・シカなどの野生動物が生息しています。そんな名栗の生き物たちの暮らしなどを、市民ガイドの会の方々が楽しく解説します。※学校団体のみ申込可



対象	実施時期	定員	所要時間
4年生以上	通年（7・8月を除く）	10～80人	1時間
可能な活動場所			
名栗げんきプラザ敷地内			
利用者持ち物			
水筒・帽子・雨具・防寒着・防寒具			

ねらい

- ・五感を使って自然に親しみ、自然に対する興味、関心を高めます。
- ・自然観察はどこでもできるので、今後、身近な自然への関心を高めます。

実施の流れ

準備

- ① 調整時に人数を確認しグループ数を設定（1ガイド15名まで）

事前打ち合わせ

- ① 当日、市民ガイドの会の方々と団体指導者との打ち合わせ（当日の人数・開始終了時間・コースなどを確認）
- ② ガイドを実施する際と安全上の注意点（下記「留意点」参照）
- ③ 服装・装備などの確認

導入

- ① コース説明
- ② 人数・服装・装備・健康状態・トイレなどの確認
- ③ ガイドを実施する際と安全上の注意点の説明（下記「留意点」参照）
- ④ 出発する前にアイスブレイク（5分程度）

実施

- ① コースをガイドしながら歩きます。複数グループがいる場合は逆回りや時間差出発などで、混雑を回避します。
- ② 多団体の活動に留意しながらコースをガイドします。
- ③ 終了時刻の2、3分前には本館中庭に戻り、人数確認を行い、簡単に振り返りを行います。
※雨天時はプラネタリウム又は集会室でスライドショーを投影します。

片づけ

- ① 参加者全員が戻っているか人数を確認します。
- ② 忘れ物が無いか確認、ガイドで使用する備品も確認（写真・パネル・小道具）。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記参照

留意点

- ① ガイドより先に参加者が行かないよう最初に注意します。
- ② 危険生物（ハチ・マムシなど）に注意し、場合によってはコースを変更します。
- ③ 双眼鏡などを使用する場合は、太陽を見ないように注意します。
- ④ 雷鳴が聞こえた場合すぐ本館へ引き返します。急な雷雨に見舞われたら近くの建物へ避難します。
- ⑤ 参加者の状況によって歩くコースを配慮します。（お年寄り・うまく歩けない方・小さい子など）
- ⑥ 自然への負荷を最小限にしてください。
 - ・不必要にコースを外れない
 - ・生きている枝、葉、花をとらない。小動物は観察した後リリース
 - ・ゴミを落とさない